



1 企業の課題解決に学生挑戦!



システムコース1年生の発表風景



生産管理コース1年生の発表風景



セキュリティコース1年生の発表風景

3月6日(木)、第一学年の学生によるアイデアソンが実施されました。これは3つのコース毎に、企業から提示された課題解決に向けて研究し、解決案を発表するものです。

コロナ電気株式会社の課題に答えた菱沼大清(多賀高卒)さんは、「業務の進捗状況・在庫状況をリアルタイムで把握するシステムを提案しました」と振り返っていました。

企業のご指導を頂き、具体的な課題と向き合い、解決への研究協議や発表は、学生が真に自分事ととらえる実践的な学びとなったようです。企業からは「実現の可能性が高く、導入までのハードルが低い」と評価頂きました。

2 卒研発表へ

今月10日(月)~12(水)に、二年生の卒業研究発表会が開催されます。システムコースのシハブさんは、「発表に使う動画をよりよくまとめ分け易く伝えたい」と意欲を燃やしていました。



3 『記事トレ』紹介



本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

<記事トレ>茨城新聞(2025年2月7日) 空飛ぶクルマの影響調査

●飛田美優さん(勝田工高卒)

◇要約: つくば市で、次世代の乗り物として注目を集める空飛ぶクルマの実験が行われた。この実験では、騒音や振動など周囲への影響を調査した。ヘリコプターと比べて音が静かで、垂直離着陸ができるという特徴を持っている。

◇感想: 最新技術の実験が、茨城県で行われていることを誇りに思う。周りへの影響や離着陸場の整備など懸念はあるようだが、これからも実験を繰り返して実用段階まで到達して欲しい。最新技術の動向に注目していきたい。

●木元心結さん(多賀高卒)

◇感想: アニメや漫画で見ていた、空飛ぶクルマが現実にも普及するのが近い将来であることに驚いている。

また、見た目がヘリコプターよりドローンに似ている感じた。自動運転が魅力的であるが、安定性やセキュリティの不安を感じた。

●田畑 潤さん(鹿島高卒)

◇感想: 最近EV車の展望が期待できない世情なので、この空飛ぶクルマが実用化されたら、オープンAIのように世界が驚くことだろう。

ただ、領空権や排気ガスなど考えなければならない問題が多いと考える。

●村澤伸哉さん(勝田工高卒)

◇感想: 空飛ぶクルマが普及すれば、陸上の交通渋滞が緩和されると考えられる。しかし、免許や航空法等の法律の観点から、まだまだ課題が多いと思う。

車の飛行制御プログラムを作るのに、これから私たちITエンジニアが活躍できる時代に期待したい。

●富永誠也さん(太田一高卒)

◇感想: 空飛ぶクルマは価格が高い、交通整備、騒音など課題が沢山ある。しかし、実用化されれば利便性が向上し、課題解決も進むと思う。今後、航空機との差別化が必要となるだろう。

